

十勝岳の火山活動解説資料（平成24年8月）

札幌管区気象台
火山監視・情報センター

13日未明に、大正火口付近が夜間に高感度カメラで明るく見える現象が観測されました。今回の現象は6月30日～7月1日と比べて規模は小さく、微弱なものでした。この現象は高温ガスの噴出や硫黄の燃焼等によるものと推定されます。

火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、2006年からみられている62-2火口直下浅部の膨張を示す地殻変動は現在も続いていますので、火山活動の推移に注意してください。

平成20年12月16日に噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴煙などの表面現象の状況（図1-①～④、図2～5）

62-2火口の噴煙の高さは火口縁上100m以下で、噴煙活動は低調に経過しました。大正火口の噴煙の高さは火口上概ね100m以下で、2010年5月頃から噴気量のやや多い状態が続いています。

大正火口付近が夜間に高感度カメラで明るく見える現象が、13日未明に観測されました。今回の現象は6月30日～7月1日と比べて規模は小さく、大正火口付近を拡大モニターしているカメラのみで観測された微弱なものでした。この現象の前後で、火山性地震の増加や火山性微動は観測されず、地殻変動及び空振データにも特段の変化はありませんでした。

28日に山麓から実施した赤外熱映像装置¹⁾による観測では、前回（7月18日）と比較して大正火口の地表面温度分布に特段の変化はありませんでした。

・地震及び微動の発生状況（図1-⑤～⑧、図6）

火山性地震は少なく、地震活動は概ね低調に経過しました。震源は概ねグラウンド火口周辺の浅い所に分布しました。

火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図7～8）

GPS連続観測では、前十勝観測点において62-2火口浅部の膨張を示すと考えられる変動が認められています。より広域の地殻変動を示す変化はありません。

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

※ 資料は気象庁のほか、国土交通省北海道開発局、北海道大学、北海道及び地方独立行政法人北海道立総合研究機構地質研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平23情使、第467号）。

次の火山活動解説資料（平成24年9月分）は平成24年10月9日に発表する予定です。

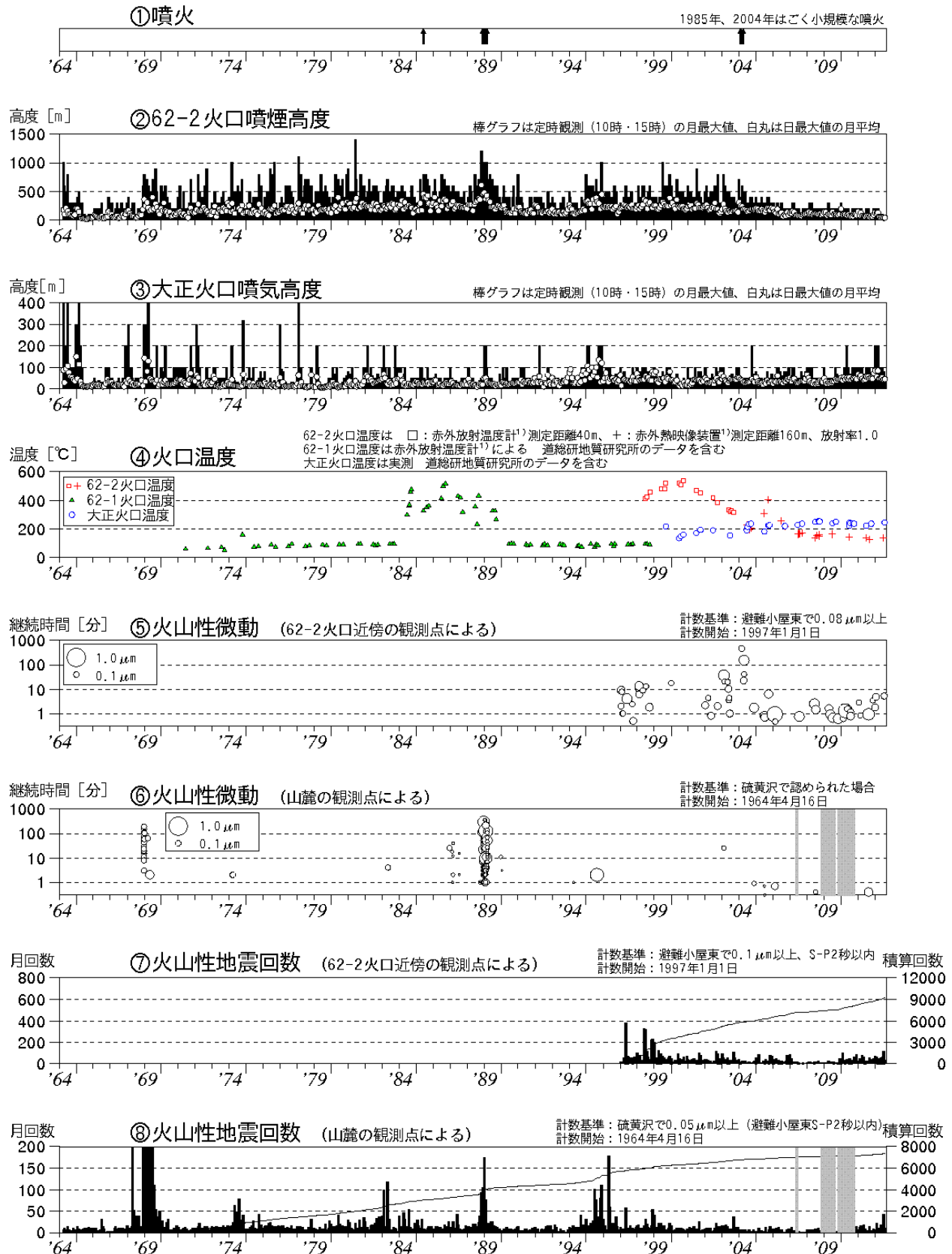


図 1 ※ 十勝岳 火山活動経過図（1964年 1 月～2012年 8 月）

⑥⑧：灰色の期間は機器障害のため欠測しています

1) 赤外放射温度計や赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感知して温度や温度分布を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

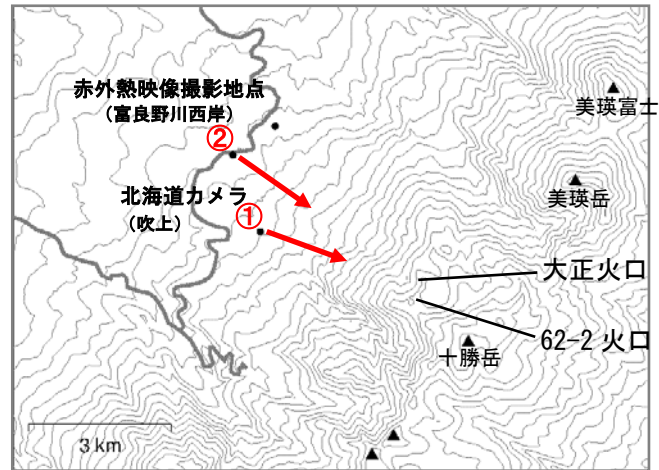


図 2 十勝岳 周辺図（①～②は写真及び赤外熱映像の撮影地点、赤矢印は撮影方向）



図 3※ 十勝岳 大正火口付近が夜間に高感度カメラで明るく見える現象の状況（北海道カメラ、図 2-①より撮影）
左：夜間明るく見える現象の状況（白矢印） 右：日中の状況

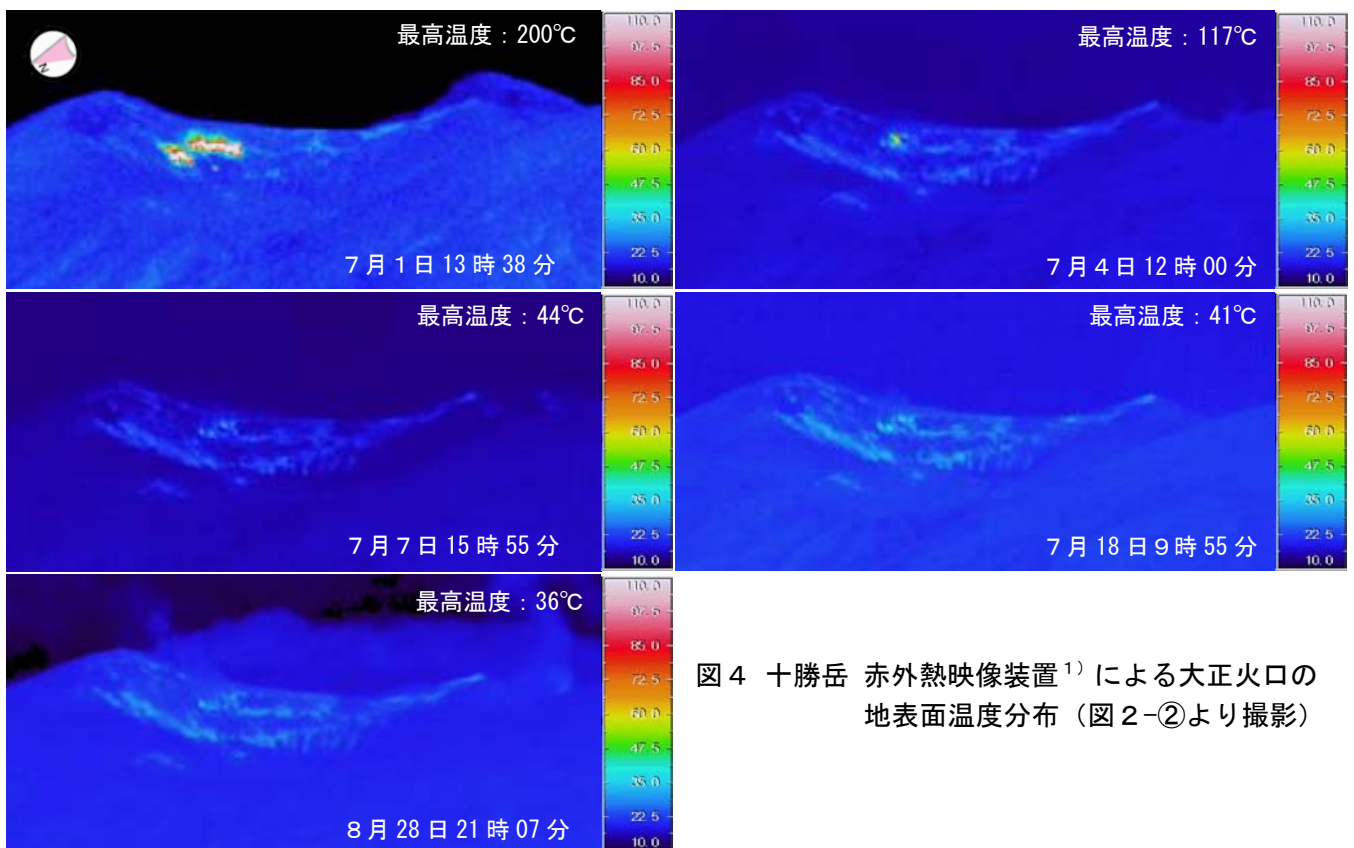


図 4 十勝岳 赤外熱映像装置¹⁾による大正火口の
地表面温度分布（図 2-②より撮影）



図5 十勝岳 山体北西側の状況（8月22日、火山観測所遠望カメラによる）

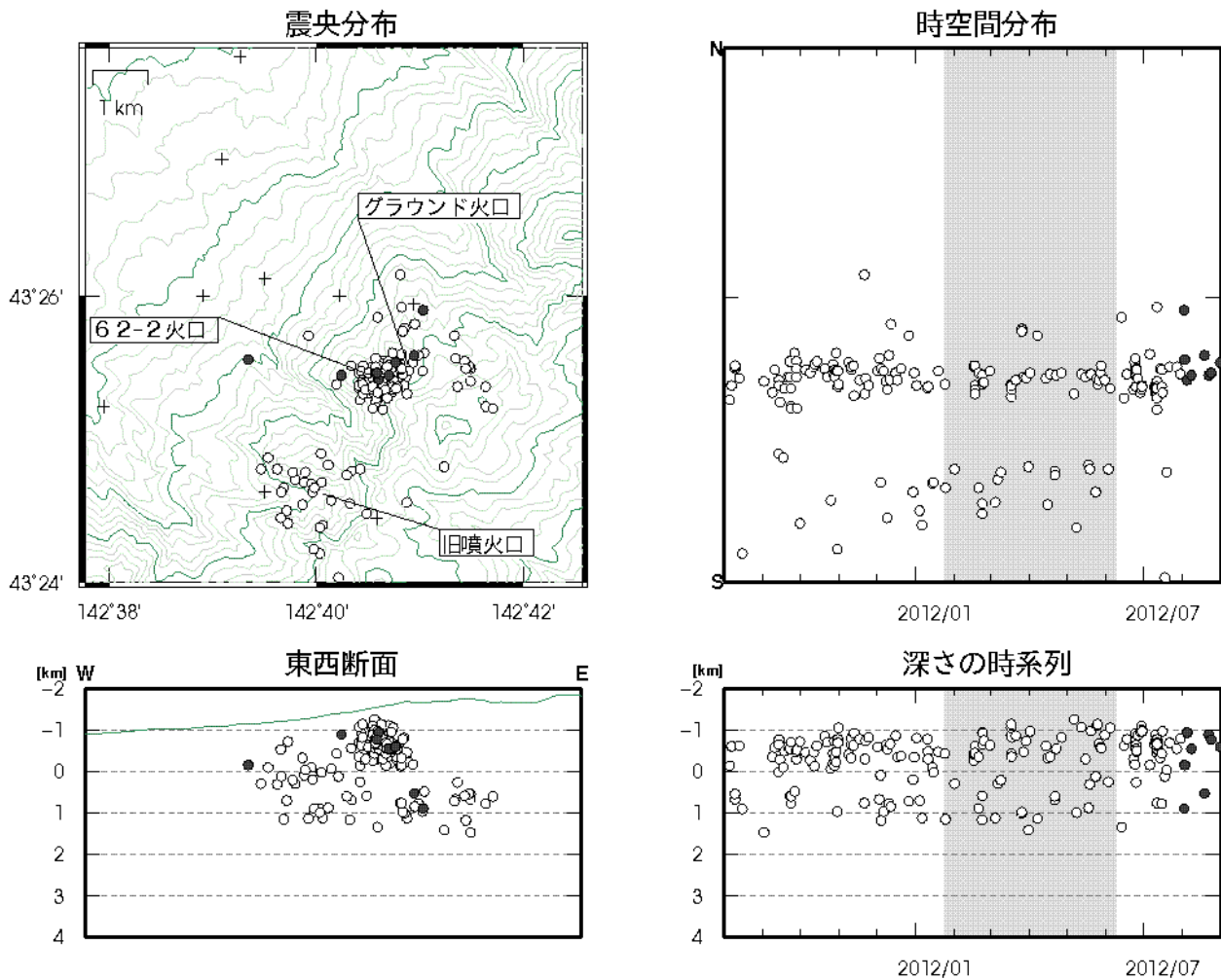


図6※ 十勝岳 火山性地震の震源分布（2011年8～2012年8月）
 灰色の期間は一部観測点欠測のため震源の決定数減少や精度低下が見られます
 ○印：2011年8月～2012年7月の震源
 ●印：2012年8月の震源

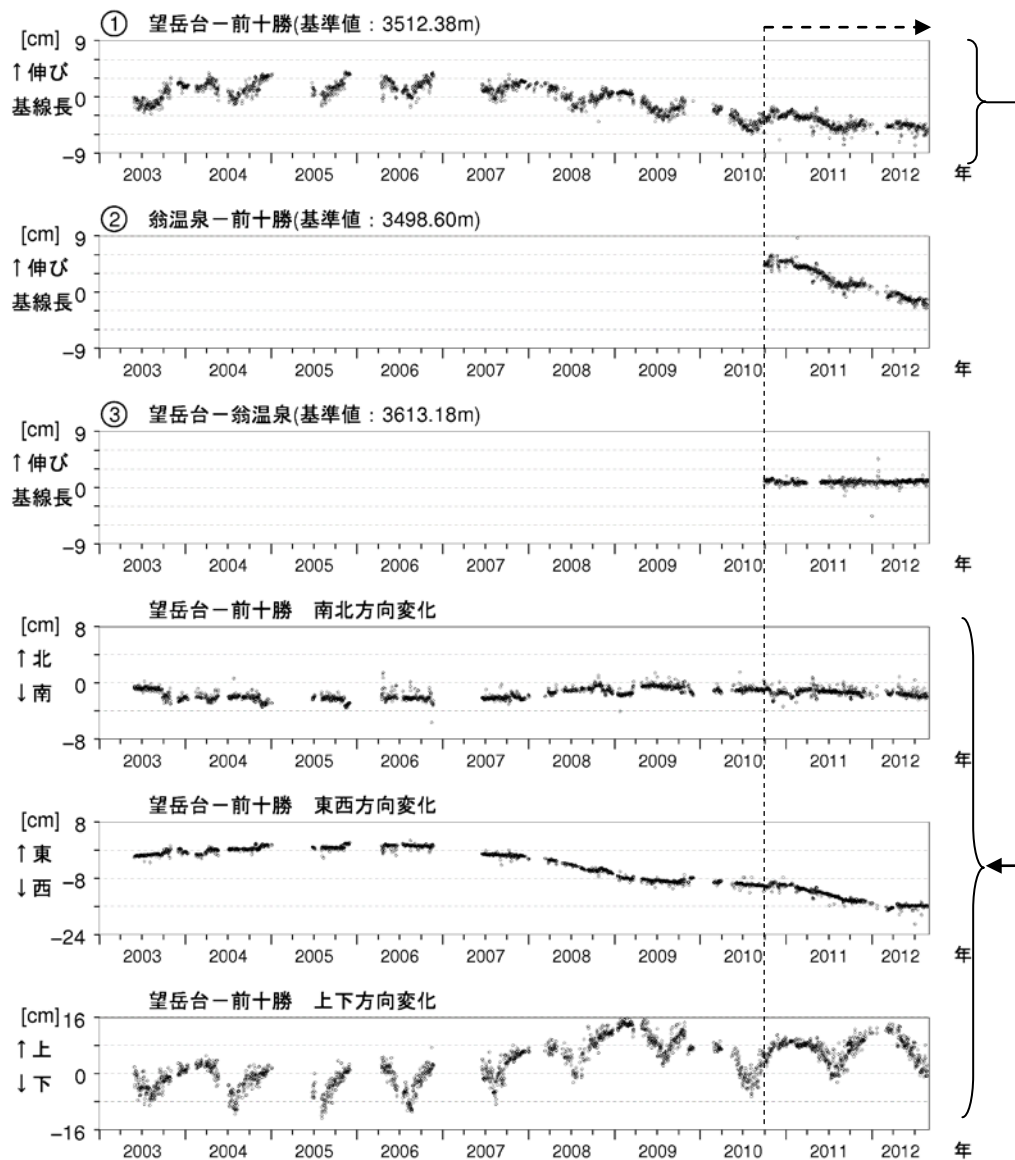


図 7 ※ 十勝岳 GPS連続観測による基線長変化（2003年 1 月～2012年 8 月）

- ・グラフの空白部分は欠測 GPS基線①～③は図 8 の①～③に対応
- ・4～6 段目のグラフは①の 3 成分変化
- ・2010年10月以降のデータについては、電離層の影響を補正する等、解析方法を改良しています

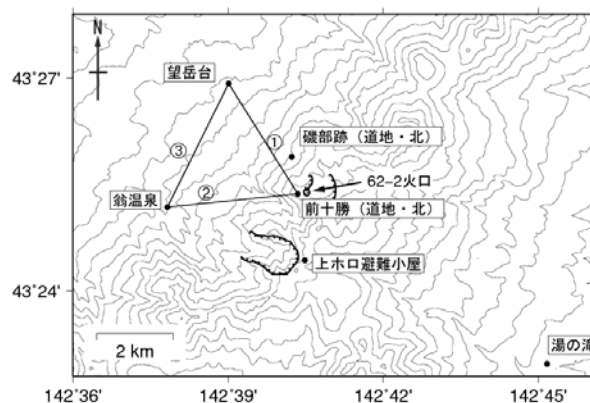


図 8 十勝岳 GPS連続観測点配置図

（北）：北海道大学

（道地）：地方独立行政法人北海道立総合研究機構
地質研究所

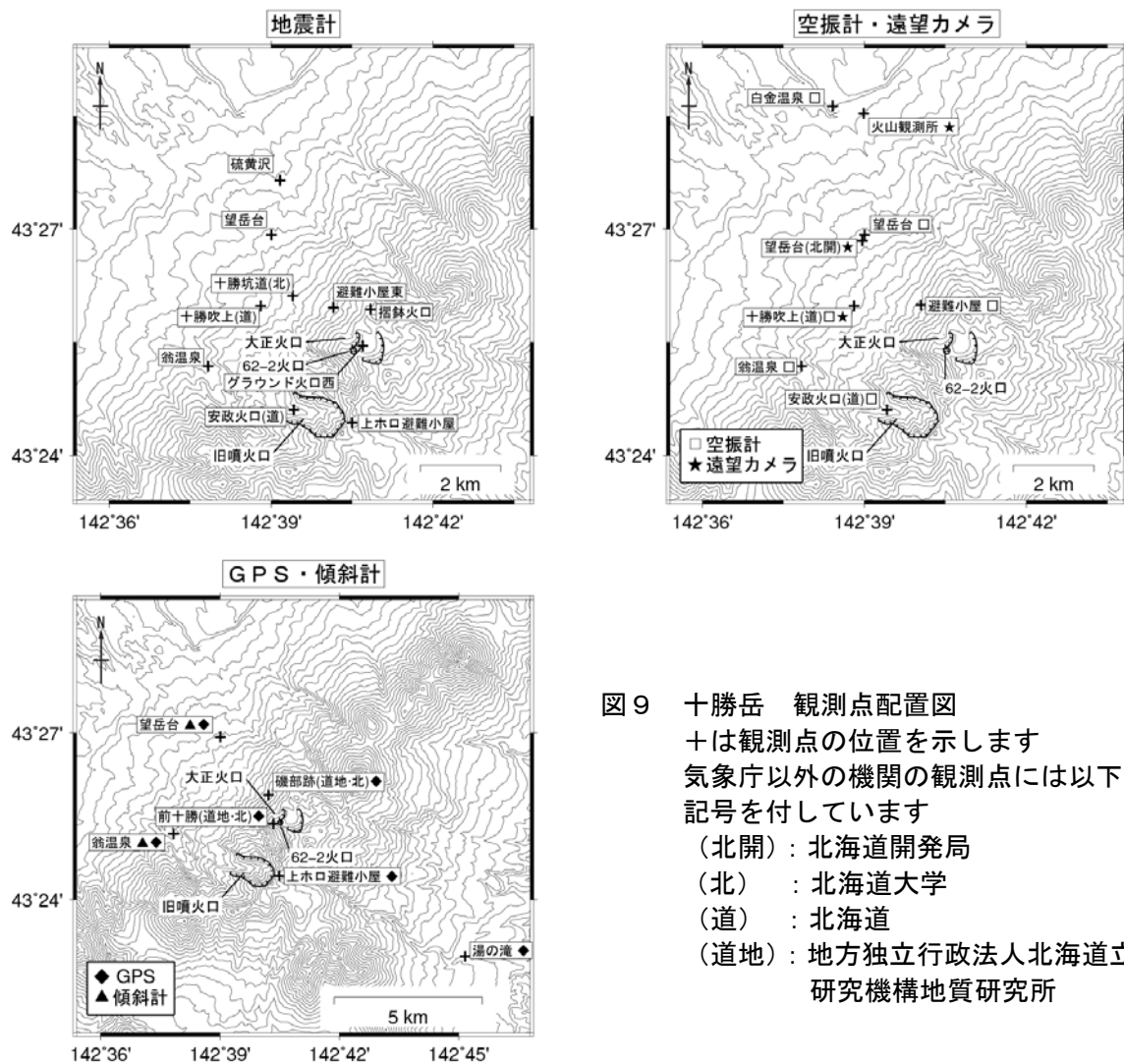


図9 十勝岳 観測点配置図
 +は観測点の位置を示します
 気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています
 (北開)：北海道開発局
 (北)：北海道大学
 (道)：北海道
 (道地)：地方独立行政法人北海道立総合研究機構地質研究所